

左から、吉田真優さん（姫路市出身・経営学部1年）、松井絵梨さん（鳥取市出身・経営学部1年）、澤田雄太さん（岐阜市出身・経営学部2年）、鈴木雄貴さん（鳥取市出身・経営学部1年）

県外の学生が多い！
松井 地元出身者が少なく、逆に県外の人と知り合いになれます。育った地域や環境が違えば、考え方も人柄も違うことを実感しました。また、意欲的に学ぼうと思っただけで入学してき

てき、先生との距離が近いという話も聞き、学びやすそうだと思います。今年度から県内出身者への生活支援制度（※）があったのもきっかけの一つです。

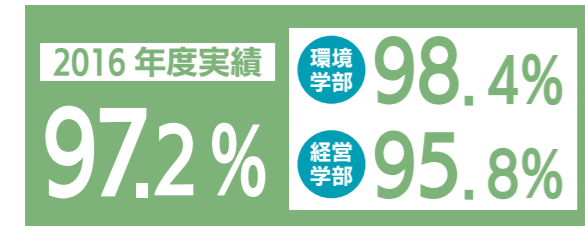
松井 入学前と後では、大学の印象は全然違います。学生も先生もみんな優しいです。環境大学に来て良かったと思

います。澤田 地域の人も学生を求められていて、面白い学生・地域の人とすぐにつながります。松井 入学前と後では、大学の印象は全然違います。学生も先生もみんな優しいです。環境大学に来て良かったと思

（※）県内出身者の進学を支援する制度

- 県内に住所を有するなどの条件あり
- ◆鳥取県内出身学生の入学金減免
282,000円→188,000円(94,000円減免)
- ◆鳥取県内出身学生生活支援制度
- ①住居の賃貸借契約を結んでいる学生
→月額2万円(4年間で最大96万円)
- ②自宅から通学する学生
→月額1万円(4年間で最大48万円)

高い就職内定率



本学を選んだ理由

澤田 どんな分野にも共通して求められるのが経営力です。経営を学びたいと思えば、環境と経営のどちらも学べる本学に入学しました。

吉田 自ら進んで学ぼうとすれば経営学部と環境学部の両分野を学べます。鈴木 地域を教材とする授業があり、高校時代から取り組んできたことを、さらに大学でも継続できると思ったことがきっかけです。

今思っていること
澤田 鳥取の人は地元に対してマイナスのイメージを持ちがちです。いろんな地域でいるような人が良い企画をしているところに出会いますが、外に発信できていません。自ら参加して、人と人、企画をつなげて、伝えていきたいと思っています。

問 本庁舎政策企画課 ☎0857-20-3153
☎0857-21-1594

北海道から沖縄まで全国各地の学生が集まって学ぶ公立鳥取環境大学は、注目度の高い個性豊かな大学です。小規模であっても、研究や学生生活動は全国版。鳥取の地で、レベルの高い研究に取り組むことができ、全国から集まってくる学生が交流しています。このたびは、在学中の学生に大学や本市について語っていただきました。

**もつと知ってほしい！
公立鳥取環境大学ってこんな大学**

いる友人に、自分も励まされ、刺激を受けています。鈴木 周りに地元出身が少なくと言われ、どんな大学か体験してみようと思いました。澤田 海外の人との交流もでき、異なった地域の異なった文化、いろいろな人と交流できるのが楽しいです。

卒業生の声

鳥取県信用保証協会 勤務 経済学を数字で学ぶより、フィールドワークなど地域に出向き、いろいろな感性で学べる経営学に興味があり、地元で経営学を学べる本学に入学しました。地元をフィールドにした学びは、本学ならではの、地元で愛着を感じながら取り組むことができました。卒業論文で「地場産業の振興」について、経営の面から掘り下げていく中で、地域の産業が引き継がれていくことの大切さを感じました。地元で活躍される人を支援する、寄り添った仕事をしたいと思い、鳥取県信用保証協会を志望しました。就職活動は、解禁時期が遅くなった年で、就職活動期間が長期化し苦労しました。大学では専任スタッフ2人が面接や履歴書など準備を支援してくれたほか、ゼミの先生にもさまざまなアドバイスをもらい、親身になってもらったことが助けになりました。今は、主に企業の信用保証業務に携わっているほか、専門家を通じて経営課題を解決することにも取り組んでおり、お客様から満足の声をいただいたときが一番やりがいを感じます。

TOTTORI UNIVERSITY OF ENVIRONMENTAL STUDIES
公立鳥取環境大学情報
http://www.kankyo-u.ac.jp/

クリスマスレクチャー2017 in とっとり

とき 12月9日(土) 12:00~16:00
ところ 公立鳥取環境大学多目的教室他
内容 ブラックホールや万華鏡などをテーマした約20のブースに分かれ実験や科学工作の体験が行えます。
対象 小学生以上 参加料 無料
問 公立鳥取環境大学 足利裕人 ☎0857-38-6753
✉ ashikaga@kankyo-u.ac.jp

サイエンスカフェ 鳥取

とき 12月16日(土) 13:00~15:00
ところ まちなかキャンパス(末広温泉町160)
テーマ 宇宙を知れば自分が見える
講師 織部隆明さん(さじアストロパーク主任)
定員 30人 ※先着順
参加料 無料
申込み 「氏名・人数・連絡先」を電話・電子メールのいずれかで問い合わせ先まで
問 公立鳥取環境大学 足利裕人 ☎0857-38-6753
✉ ashikaga@kankyo-u.ac.jp

シリーズvol.70 **公立鳥取環境大学**

問 企画広報課 ☎0857-38-6704
http://www.kankyo-u.ac.jp/ nyushi@kankyo-u.ac.jp

TOPICS
トピックス **第14回全国高校生環境論文
TUESカップ**

- 「実験・観察系」「社会活動系」「主張系」の3つのカテゴリーで論文を募り、全国31校から多数の応募をいただきました。受賞作品は以下のとおり決定しました。
- 【環境大賞】
「良好な河川環境と河床の有機物量との関係に関する考察」
愛知教育大学附属高等学校 米津勇輝さん
- 【鳥取県知事賞】
「地域未利用資源から始まる循環型畜産」
神奈川県立中央農業高等学校 佐々木真彩さん
- 【鳥取市長賞】
「地域と目指す、人と川をつなぐ『かわまちづくり』」
岐阜県立岐阜農林高等学校 東山奈由さん
- 【新日本海新聞社賞】
「商品開発で環境啓発」
岐阜県立大垣養老高等学校 食品科学科 湧く湧く班
(五十川祐一郎さん、井口裕喜さん、上嶋みなみさん)

市民伝言板

市民のみなさんの自主的な活動をご紹介します。

無料一日きものレッスン

時:12月2日(土) 13:30~15:00/所:とりぎん文化会館/容:自分で着られない、着崩れても自分で直せない、着方を忘れてしまったなんていう人、みんなで着物デビューをしましょう!持:きもの一式 ※二重太鼓を結びますので、袋帯をご用意ください。/料:無料/員:15人/募:12月1日(金)まで/連:米村 ☎0857-30-2177 ☎0857-30-0128

白兔養護学校 にこここショップ2017

時:12月7日(木) 13:00~14:30/所:鳥取県立白兔養護学校体育館/容:農業、木工、陶芸などの作業製品の販売。児童生徒のおもてなしコーナーでコーヒーの無料サービス有り。/連:県立白兔養護学校 ☎0857-59-0585 ☎hakuto-s@mailk.torikyo.ed.jp

女性活躍推進イベント キラリ☆さがけ塾

時:12月9日(土) 10:00~16:00/所:カフェソースバンケット/容:▷講演会「貴方は貴方のままで素晴らしい!貴方の花をさかせよう!」講師:小山吉美((一社)ラプミー協会代表理事)▷トークセッション:鳥取で活躍する女性たちと自分の可能性を見つける座談会▷ワークショップ、セラピー、飲食など/料:▷講演会・トークセッション 無料▷ワークショップ・飲食など有料/連:鳥取の女性を応援する実行委員会 ☎090-6405-8672 ☎izumi.hand0184@gmail.com

第52回歳末たすけあい茶会

時:12月10日(日) 10:00~14:30/所:とりぎん文化会館展示室/容:毎年恒例の歳末たすけあい茶会。テーブル式でお抹茶を提供します。どなたでも参加いただけます。売上の一部を寄付します。/料:一般1100円、ジュニア(高校生以下)500円/連:茶道裏千家淡交会鳥取青年部 松村 ☎090-2869-5809

第52回児童福祉展

時:12月27-28日(水・木) 10:00~15:00/所:とりぎん文化会館展示室/容:県内の児童福祉施設(9施設)の子どもや特別支援学校(2校)児童・生徒による作品(約1000点)を展示。/料:無料/連:児童福祉団体あすなろ会 前根 ☎090-1012-2062

紙面の都合により掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。

※2月号に掲載を希望される人は、必要事項を記入し、12月15日(金)までに、ハガキ、ファクシミリ(☎0857-20-3056)または電子メール(✉shihou@city.tottori.lg.jp)で秘書課広報室まで。